

# うつらない、うつさない。 秋冬の感染症に備えましょう

問保健センター（☎28）5520）

秋から冬にかけては、インフルエンザや新型コロナウイルスなどの感染症が流行しやすい季節です。

「換気」「咳エチケット」「手洗い」など、私たちが日頃からできるちょっとした心掛けが、自分自身を守るだけでなく、家族や友人、周りの大切な人への感染を防ぐことにもつながります。また、感染症の中には、ワクチン接種によって発症や重症化のリスクを下げられるものもあります。

本格的な流行を迎える前に、できる対策を一つずつ。この秋冬を元気に過ごすため、感染症への備えを始めましょう。

## 4つの基本的な感染症対策

### ①換気



空気中のウイルスなどを外に追い出すことができます。

### ②マスク着用などの咳エチケット



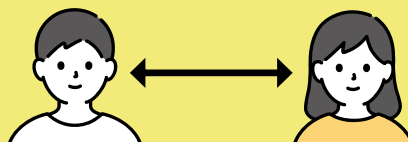
ウイルスなどを含んでいる飛沫が広がるのを防ぐことができます。

### ③手洗い



自分の手に付着したウイルスを減らすことができます。

### ④人混み回避



人混みを避けることで、感染機会を減らすことができます。



一人一人が基本的な  
感染予防の実践を  
お願いします

富田林保健所  
福島所長

◀地域の健康を守る富田林保健所所長・  
富田林医師会会長からのメッセージ

毎年、冬になるとインフルエンザや感染性胃腸炎が流行します。また、新たな感染症の発生も私たちの生活に大きな影響を与えます。こうした感染症から地域住民の健康を守るための役割を担っているのが保健所です。保健所の感染症対策は、これまで感染症が発生した際の疫学調査や感染経路の把握、医療機関との連携、住民への情報提供などを通じて、地域での感染拡大防止に取り組んできました。

しかし、令和2年に発生した新型コロナウイルス感染症以降は、感染症発生時の対応だけではなく、平時からの人材育成、関係機関との連携や情報を共有するための体制整備に加え、ICT（感染制御チーム）の活用やリスクに応じた疫学調査など、より効率的で持続可能な感染症対策へと変化しています。地域住民の健康を守るためには、平時からの備えと発生時の迅速な対応が欠かせません。

感染症対策は、保健所だけで成り立つものではありません。一人一人が基本的な感染予防を実践し、体調に異変を感じた際には早めに相談・受診することが、地域全体の感染拡大防止につながります。日頃から正しい知識を身に付け、安心して暮らせるまちづくりを一緒に進めていきましょう。



## 高齢者の予防接種

今年度はインフルエンザの流行入りが例年より早い  
ため、定期接種を前倒して  
実施します

# ・ 9月14日～インフルエンザ ・ 10月1日～新型コロナ 秋冬の定期予防接種を実施

固保健センター ☎ (28) 5520



▲インフルエンザ



▲新型コロナ

**実施期間** インフルエンザ＝9月14日～令和9年1月31日(日)、新型コロナ＝10月1日(木)～令和9年3月31日(水)

**対象者** ①満65歳以上、②満60歳以上65歳未満で、心臓・腎臓・呼吸器・免疫などの機能障がいがあり、身体障がい者手帳1級程度の人

**実施医療機関** 9月中のインフルエンザ実施医療機関は、市ウェブサイト（健康づくり推進課のページ）をご覧ください（随時情報を更新しています）。

10月1日からの実施医療機関は、令和8年度保健事業案内または市ウェブサイトをご覧ください。

※河内長野市、大阪狭山市、羽曳野市の実施医療機関については、インフルエンザ・新型コロナともに10月1日からの開始となります。

※入院や入所などのやむを得ない理由のため、指定の実施医療機関で接種することができない場合は、償還

払い（返金）の制度があります。事前に申請が必要ですので、詳しくは保健センターに問い合わせいただくか、右図より申請してください。



**費用負担額** インフルエンザ＝1000円、新型コロナ＝8000円

**接種回数** 各1回

※生活保護受給世帯の人は、公費負担（無料）で受けることができます。詳しくは、保健センターまたは生活支援課 ☎ (25) 1000 へ事前にお問い合わせください。

**持ち物** マイナンバーカード、資格確認書、医療証のいずれか、または住所・氏名・生年月日が記載されている書類、②に該当の人は身体障がい者手帳も持参。

※予診票は医療機関に備えてあります。

※現在通院（治療）中の人は、かかりつけ医にご相談ください。

インフルエンザワクチン、新型コロナウイルスワクチンは、感染を完全に防ぐものではありませんが、重症化や入院のリスクを軽減する効果が期待されています。接種を受けるかどうかは、ご本人がワクチンの効果や副反応をご理解いただいたうえで判断していただくことが大切です。接種について迷われることや不安な点がありましたら、ぜひ、かかりつけ医にご相談ください。

ご自身の健康を守ることは、ご家族や周囲の大切な方を守ることにつながります。この秋冬も、地域の一人一人が感染予防を心掛け、安心して健やかに過ごすことができるように願っています。

秋から冬にかけては、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症などの呼吸器感染症が流行しやすい季節です。日頃から手洗いや換気を心掛け、必要に応じてマスクを着用するなど、基本的な感染予防対策を続けることが大切です。

高齢の方や基礎疾患のある方は、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症にかかる、肺炎や基礎疾患の悪化などにより重症化することがあります。特に高齢で体力の低下した方や寝たきりの方は、感染が治った後も食欲や体力の低下から全身状態が衰え、その後の生活機能の低下や、時には命に関わる場合があります。



不安な点があれば、  
かかりつけ医にご相談  
ください

富田林医師会  
児嶋会長（児島医院）